



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 大阪マルビル第一ホテル

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪4F

会長 郡 悦清 幹事 梅本知秀 広報委員長 岡本 健



2009-2010年度 国際ロータリーのテーマ

電話 (06) 6345-1115(直通) 電話 (06) 6341-4411(ホテル) FAX (06) 6344-8222 E-mail:temma-rc@lapis.plala.or.jp http://www10.plala.or.jp/temma-rc/

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

MAY 20 2010 NO. 2067

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2067回)
- 2) ソング 四つのテスト
- 3) 卓話 「日中企業の相違と
協力関係の可能性」
阪南大学大学院企業情報研究科
教授 洪 詩鴻 (ホンシホン) 様
金田 五郎会員紹介
- 4) 第6回被選理事会

次週(5月27日)のお知らせ

- 1) 例会 (2068回)
- 2) ソング 夏の思い出
- 3) 卓話 「高齢者のリスクとその管理」
南川 和茂会員
- 4) 6月度定例理事会(新旧合同)

☆☆ 5月度の結婚記念日 ☆☆

奥 崇 三谷 滋伸 岸本 良一
山本 喬一 土井 憲一 坂本 一民
小寺 一矢 榎木 勇 衣斐 孝雄
(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

ご来訪のビジターの皆様、ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。会員の皆様多数のご出席ありがとうございます。さて、先日会員委員会の三谷委員長に引き継ぎを兼ねた今年度最後の会合を開いて頂きました。他の委員会におかれましても、今後次年度に向けて十分な引き継ぎの程よろしくお願い致しますと共に、次年度各委員会委員長におかれましては、次年度活動計画立案に際し委員会メンバー全員のコンセンサスを得て立案くださいますようお願い致します。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ① 「2009年秋のライラ」記録誌が届いておりますので事務局で保管しておきます。
- ② 本日、「新旧理事・役員・委員長懇親会」のご案内をさせて頂いております。
- ③ 次年度ロースターの原稿、訂正のご連絡を頂きました方々に訂正原稿をお配りしております。再度のご確認よろしくお願い致します。

なお、間違い等がございましたら本日中に事務局までご連絡をお願いいたします。

- ④ 次年度の活動計画書原稿ならびに本年度活動報告書原稿をご提出いただけます委員会から順次お願いいたします。
- ⑤ 次週例会前に、第6回被選理事会が開催されます。本日案内していますので関係各位よろしくをお願いいたします。
- ⑥ 5月17日(月)は事務局をお休みにさせていただきます。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

誕生日自祝 二宮 秀造
結婚記念日自祝。会長よりきれいな花を頂き感謝 山本 喬一
1ヵ年ホームクラブ皆出席自祝 中野 格
新入会員中村 修さんをよろしく。

重里 國麿、安田 義治
中村 修会員の入会を祝して 高良 尚志
衣斐先輩!!本日の卓話楽しみにしております。

中川 政照
本日の衣斐先輩の卓話、とてもとても楽しみです!! 国際奉仕団一同

衣斐先輩の卓話楽しみです。

名無しのゴンベイ会員

川柳大会入賞自祝 中村 健輔

川柳大会、瓢箪から駒、郡会長賞を頂いて

福井 興

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	72名	5月13日の出席率	84.13%
国内ゲスト	0名	会員出席	53名(63名)	4週間前(4月15日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	23名	メイクアップを含む出席率	92.06%
外国ゲスト	0名	会員欠席	10名	メイクアップ実施会員	6名(欠席者11名)

川柳大会入賞自祝 保倉 賢造
 川柳大会入賞ありがとうございます。自祝
 鎌田 充生
 川柳大会入賞自祝 大矢 平治
 川柳大会自祝 徳岡 昭七郎
 川柳大会、初めての投稿で入選しました。奇跡です。 高田 肇
 川柳大会に入選させていただき感謝 山本 喬一
 川柳大会、RC大賞を授かりありがとうございます。お陰様で絆が一層強くなり、離婚の危機は完全に回避されました。 吉野 正史
 川柳大会入賞自祝 中野 格
 郡会長、石田パスト会長に大変お世話になり誠に有難うございました。 二宮 秀造
 この歳で水疱瘡にかかってしまいました。日々健康であることに感謝 永田 秀次
 平成22年5月13日 合計金 99,000円
 累計金 2,820,000円

☆☆ 先週(5月13日)の卓話 ☆☆

「責任の取れない話」

衣斐 孝雄会員

今のままで、日本はこれからどうなっていくのでしょうか？

戦後日本は復興のために、産業や経済に力を入れ、又諸外国からの後押しがあつて、発展してきました。しかし、経済も産業も世界水準以上になってきた昨今では、急にブレーキがかかっているような気が致します。

平成に入って日本の首相が14人も代わっています。首相の能力だけでなく、見えない力でそうされているのではないのでしょうか？

私達の日常では、それ自体では別問題のように見える事が、実は別の視点で見ると意味があることがあります。今日は5月13日、今日の日付を足すと「18」になります。たまたまこの様な日に卓話が当たりました。

今日は「18」という数についてお話させていただきます。最近ではあまりラジオを聞く方もいらっしやらないかもしれませんが、NHKを始め、日本の民法放送は中波がメインで、周波数を足すとなぜか「18」になります。

またこじつけかもしれませんが、最近の大きな地震のいくつか、サンフランシスコ、ロサンゼルス、阪神淡路、パキスタンの大震災などは日付を足すと「18」になります。

湾岸戦争の勃発も1991年1月17日・・・『18』の日です。バーコード、インターネットのアドレスにも隠された数字があるようです。

これにはきつとなにかあるにかもしれませんね。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

- ・コーンクリームスープ
- ・ミックスシーフードフライ(海老、キス、穴子)、タルタルソース
- ・フルーツ ・ライス ・コーヒー

四つのテスト

相模原南 RC

作曲 水谷暢宏

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

三地区青少年交換委員会 広島方面研修旅行に参加して

R I 2660地区 青少年交換委員 吉野正史

4月23日～25日の3日間 D2640、D2660、D2680共同企画の、四国・広島方面研修旅行を引率して来ました。この事業の目的はインバウンド生に対し、①戦争の愚かさや核兵器の悲惨さを実感し、日本が世界唯一の被爆国として平和を希求し、戦争を放棄して非核三原則を守っている事を知ってもらう。②日本文化の体験、高度橋梁技術の見学、美観地域の観賞等で日本の理解と関心を高めてもらう。③来日生、派遣候補生、ROTEX、旅先の人々と親睦及び交流をはかることです。参加者はINBOUND 21名、OUTBOUND 6名、ROTEX 9名、YEO 8名の44名でした。当クラブからはA b b y S t a y s a と山村芹菜さんが参加されました。



1日目：穏やかな明石海峡を眼下に幾何学的な美しさを誇る明石大橋を渡り、薫風を頬に受けながら新緑の淡路島を車窓からスライドショーで観光する。高松では「手打ちうどん」を体験して本場の味を楽しむ。しまなみ街道では生口島の平山郁夫美術館で遺作品に触れて感動していた。



2日目：原爆ドーム付近を視察後、「平和の子

の像」では昨夜遅くまで皆で作った“千羽鶴”を奉納した。平和資料館を見学した人達は殆ど目を充血させ、臉を腫らして出て来る。訪ねる度に心がより痛む。その後は心気一転して世界遺産・安芸の宮島「厳島神社」へ向かう。船中の様子とは変わって、神聖な雰囲気と佇まいに少々緊張をしているようだ。今夜の宿泊地神楽湯治村（安芸高田市）では、伝統芸能の『神楽』を観賞し、公演後は衣装を纏って団員の方々と交流をはかる。涙・静・そして笑いの一日でした。



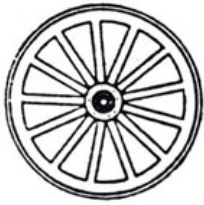
3日目：江戸時代の城下町を彷彿させる様な雰囲気の中で、女将から旅の安全を祈願する“火打ち”を受けて、先ずは倉敷を目指して出発する。美観地区では静寂な街並を散策しながらも興味深い郷土品を買い求めている。次は岡山の後楽園、その整備された日本庭園の美しさに感動している。両方共、往時を偲ばせる名残が何処かに漂っている。しかし、それを来日生に感じて貰えないのが如何にも残念である。



研修期間中、幸い天候にも恵まれこの企画の目的や意義を充分達成できたと思いました。

最後になりましたが当企画の実施に当たり、ヒルトンホテル大阪での観光バス駐車場で西村功会員に大変お世話になり有難う御座いました。

ロータリーの歯車の歩み



文明の産物を運ぶために思いついた車輪は、歴史以前のものである。しかし、それがいつ、どこで発明されたものであるかは誰も知らない。多分、紀元前の末期、小アジアかヨーロッパで発明されたのではないかとされている。

ロータリー誕生の年に歯車も生まれた

世界中のロータリーの組織を象徴するため考案された歯車は、1905年（明治38年）ロータリー誕生の年に生まれている。



これは、ロータリー最初のクラブの彫刻家であったモンターギュー M. ベアが、シカゴの元気あふれる若い職業および専門職業人の新しいグループの徽章として、簡単に、かつ素朴な形の車輪を描いて、これをクラブに持参し提供したことに始まるのだ。創設者ポール・ハリスは、モンティーに対し幾つかの試案の提示を求めた結果、ポールはじめ一同が一致して賛成したのが、この車輪である。つまり、車輪は皆に親しまれた象徴であり、車輪は第一Rotateするからであった。

これが今日、襟章として、道標として、カフスボタンとして、ネクタイとして、その他例会の襟章に、壁掛けに、レターヘッドに、その他いわゆるロータリーを象徴する記号として使われている歯車の始まりである。



モンティーの考案のままの車輪は、そのままでは続かず、その後幾多の改良が行われ、これではあまりに簡単すぎるという見地から、モンティー・ベア自身、さらに車輪の下部分に、雲のようなデザインを加えた。しかし、その後、幻燈のスライド製作者である“Long Tom” Philipは雲の部分をもさらに広げてその上にリボンをつけ、これにRotary Clubの文字を入れた。つまり車輪が現実動いている体裁を整えたデザインにしたのであった。

独自の徽章を考案



この間、サンフランシスコ、オークランド、シアトル、その他のクラブでは、車輪を取り入れて独自の徽章を考案して使っていた。1910年に16のクラブが連合して新しいナショナルアソシエーションを組織したのであるが、定款その他の規定の作成に忙しく、徽章のことに触れる余裕がなかった。

本部はシカゴ・クラブの徽章を何とはなしに使っていたが、1912年ドルースで連合大会を開催するに当たり、本部としてもこのままにはできないので、全体に共通する徽章のデザインを考案するよう、全クラブに呼びかけた。しかし、もちろん車輪を基本的なものとするに変わりはなかった。

かくして、ドルースの大会においてロータリーは名実ともに国際的になったが、ロータリーは、ここに初めてローヤル・ブルー（濃青色）と金色の歯車を正式の徽章として、制定したのであった。



しかし、その後専門家から、この歯車は技術的に不完全であり、このままでは動かないとの注意が出たので、2人の技術者（ドルースのOscar B. BjorgeとシカゴのCharles Henry Mackintosh）からなる委員会が任命され、技術的に正確に動く歯車が検討された。

楔穴を付け加え完成



この委員会が考案したデザインは1920年正式に採用公布となり、これが今日われわれが親しんでいるロータリー・マークであるが、ただ、ひとつだけ違いがある。それは、前記2人の委員が楔穴（Key way）を見落としたことで、これがないと歯車は車軸からの（または車軸への）力を伝えることができなくて遊んでしまうわけである。かくして楔穴も付け加えられて、歯車は休止することなく今日まで回転し続けているのである。

この歯車に国際ロータリーとしては、一般的な解釈以外に何か特別の意義を持たせているのではないかと、よく問題になるが、公式にいった何もない。しかし古来幾千のクラブが歯車の6つの輻と24の歯に特別の意義を見いだしている。